

神根中だより

～歌声と笑顔あふれる学校～

令和4年9月号

学校教育目標
主体的に学ぶ、
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根^{かみね}中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

学校改革・2…部活動を任意加入制へ

校長 松村 一人

「学校改革・2」となります。マスコミでも度々取り上げられるようになりましたが、「公立中の休日部活動が2025年にも地域移行へ」と題されている全国の中学校の改革です。来年度（2023年度）から、3年間を「改革集中期間」として、2025年度末を目標に、休日の部活指導を地域のスポーツクラブや民間のジムなどに委ねる「地域移行」を実現すべきだとする提言をしたのは、公立中学校の運動部活動改革を検討するスポーツ庁の有識者会議です。この話は、かなり前から進んでいて、私も耳にしていました。「中学校」といえば「部活動」を第一に思い浮かべてもおかしくない時代は過ぎ去ろうとしています。まさに、その転換期のまっただ中にいます。背景には、少子化の進展に加えて、教員の長時間労働解消が喫緊の課題であることです。今までの部活動は、ほとんどが教員の勤務時間外に行われています。もちろん、今までの部活動が生徒の心身の育成や生徒指導上の課題解決に果たしてきた役割の大きさは計り知れないものです。しかし、それはほとんどが教員のボランティアの上に成り立っているというおかしな構図がようやく改善されようとしています。休日の部活動がなくなることのメリットもデメリットもあることは、みんなが分かっていることですが、この改革の波を止めることはできないでしょう。ならば、適切かつ柔軟に対応していくしかありません。

そこで、徐々にその方向に向けての改革を時代の流れと共に本校でも行っていきます。その一つが「部活動は全員加入」から「部活動を任意加入制にする」ことです。3年生が事実上引退した日から、各部活動ごとに退部を可能とします。今までは、「転部」はありましたが、「退部のみ」はありませんでした。でも、各自の自己実現に向けて、「部活動で頑張る」以外の選択肢もありとすることにしました。

1、2年生で「今やっている部活動」でなく、外部のクラブチームの活動のみに集中したいとか、習い事（ピアノ、書道、柔道、ボルダリング、英会話…等々多種多様にありますね。）に取り組む時間を増やしたいとか、学習を徹底的に極めたいとか、今は決まっていないけど今ある部活動にはどうしても興味が持てず苦痛でしかないとか、生徒会活動のみをやりたいとかいろいろな理由が考えられますが、「部活動の所属なし」を可とします。

なお、部活動に所属していないと入試で不利になるのでは？という疑問を持たれるかもしれませんが、それはありません。何も表彰や役職がない「〇〇部」のみ内申書（調査書）に書いてある人と部活動の所属がなくて何も書かれていない人には、差がつきません。もちろん「県大会出場」等の実績や「〇〇部部長」等の記載があれば、それは多くの上級学校でプラスに評価されるでしょう。

「退部」希望者は、保護者や担任の先生、あるいは顧問の先生等とよく相談してください。そして「退部届」を提出してください。

なお、部活動の所属がなくなった人は、川口市からの部活動助成金やPTAからの部活動助成金の恩恵に預かることがなくなってしまうことはご承知おき下さい。